

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。  
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二六（令和八）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈一般 A日程〉

国語

二〇二六（令和八）年一月二十九日（木）

九時～九時五十分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい（都合により、本文に変更を加えた箇所がある。）

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

一九六〇年 詩集『からんどりえ』

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

## 著作物保護のため掲載を控えます

(渡邊十絲子『今を生きるための現代詩』)

問一 詩「みぞれ」の形式を漢字で答えなさい。

問二 (A)の中には、詩「みぞれ」から二行が引用される。ふさわしい行の番号を二つ答えなさい。

問三 ——部(1)「独特の価値がある」について、どのような価値か。四十五字以上五十字以内で説明しなさい(句読点も一字とし、以下同様とする。)

問四 (B)に入れるのにふさわしい逆説的な表現を、考えて書きなさい(逆説的な表現……矛盾しているようでありながら、真実をついた言い方のこと。)

問五 ——部(2)「図像的魅力」について、この視点で次の石川啄木の短歌を鑑賞したとき、鑑賞文として最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

不來方のお城の草に寝ころびて

空に吸はれし

十五の心

- ア 作品の終わりの文字を線で結ぶと、波の形となり、さまざまな経験によって揺れ動く十五の心が視覚的に伝わる。
- イ 作品の終わりの文字を線で結ぶと、山の形になり、未来への期待に膨らむ十五の心が強調されて伝わる。
- ウ 作品の終わりの文字を線で結ぶと、水平な線となり、何があっても動じない少年の心ははっきりと伝わる。
- エ 作品の終わりの文字を線で結ぶと、斜め左上に上がる形になり、十五の心が空に吸われていくさまが視覚的に伝わる。
- オ 作品の終わりの文字を線で結ぶと、円形となり、夢にむけて十五の心が大きく膨らみ空に吸われていく情景が効果的に伝わる。

問六 —— 部(3)「すぐれて日本語的な問題」について、どのような問題のことを指しているか。日本語の特徴にも触れながら、五十字以上五十五字以内で説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(都合により、本文に変更を加えた箇所がある。)

高校二年生の穂積<sup>ほづみ</sup>怜<sup>れい</sup>は、訳あって母親の寿<sup>とし</sup>絵<sup>え</sup>とその友人である伊都子<sup>いとこ</sup>との間を行き来しながら生活している。以下は、怜が通う高校での個人面談と、その後の様子を描いた箇所である。

## 著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(三浦しをん『エレジーは流れない』)



- ア Aさん…彼は大学には行きたくないんだな。担任の先生は進学を強く勧めているけれど、本人にその気がないなら、仕方ない。
- イ Bさん…大学進学には費用が必要だからね。その問題さえ解決すれば、彼の悩みもなくなるんだけどなあ。
- ウ Cさん…経済面だけが理由なのかなあ。大学に進学する意義を感じているかどうかとも問題なのでは。
- エ Dさん…担任の先生は彼の学力も不安視しているよね。それもあって、本人は進学について前向きになれないのかもしれない。
- オ Eさん…彼は、大学で学ぶことは絶対に必要だと考えているよ。周囲の大人の目も気にする、けっこう思慮深いタイプかも。

問四 進路をめぐる怜の気持ちとは対照的な桜台の家の描写を一文で探し、はじめの五文字を答えなさい。

問五 伊都子と寿絵のクリスマスの迎え方の違いを、五十字以上五十五字以内で説明しなさい。

問六 本文の内容の説明として最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 寿絵の「『大根』」という発言に対して「『は?』」と答える怜の様子から、親子関係が良好ではなく、二人の会話がかみあわない様子がうかがわれる。
- イ 「二階の窓からは、餅湯町を覆う灰色の冬の空が見えた」から、関口先生の頼りないアドバイスに呆れて心が落ち込んでいく怜の心情を読み取ることができる。
- ウ 「『それだ!』」ことから、ボールペンを購入するかどうか悩んでいた慎一に、最高のプレゼントを贈ることができる喜びが溢れている様子が伺える。
- エ 「一番太い堂々たる大根を買って帰った」ことから、寿絵の「クリスマスプレゼント」の希望を叶えようとする怜の気持ちを読み取ることができる。
- オ 「結局、伊都子には進路について切りだせないままだった」ことから、伊都子が怜にとって悩みを相談しにくい、緊張感を与える人物であることが伺える。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい（都合により、本文に変更を加えた箇所がある。）

### 著作物保護のため掲載を控えます

（高橋貢『古本説話集全註解』）

問一 —— 部(1)「躬恒」とは、「凡河内躬恒」おおしごちのみつねのことであるが、彼が醍醐天皇たいごてんのうの命を受けて、紀貫之きのつらゆきをはじめ他の三人の撰者せんじゃとともに編纂へんさんした和歌集の名前を漢字で記しなさい。

問二 (A) には—— 部(2)「来む」の現代語訳が入る。ふさわしい言葉を答えなさい。

問三 ——— 部(3)「東人」の読み方を、歴史的仮名遣いを用いてひらがなで記しなさい。

問四 「躬恒」はなぜ和歌を東なまりを用いて東人のように詠んだのか。その理由として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 約束を破られて相手と会うことができなかった自分を、人のことを決して責めないきれいに澄んだ今夜の月のような心の持ち主だと称賛するため。

イ 約束を果たさず自分のところにやって来なかった相手を、きれいに澄んだ今夜の月のように見事な振る舞いができる人物に違いないと称賛するため。

ウ 約束を果たさず自分のところにやって来なかった相手を、きっと何か言い出せないような事情があったに違いないと逆に氣遣ってみせるため。

エ 約束を破られて相手と会うことができなかった自分を、きれいに澄んだ今夜の月の情趣をともし味わう相手もいないさびしい存在だと嘆くため。

オ 約束を果たさず自分のところにやって来なかった相手を、きれいに澄んだ今夜の月の情趣を解することもできない期待外れで残念な人だと非難するため。

四 傍線部のカタカナを漢字に改め、漢字の読みをひらがなで記しなさい。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① 夕方までシツムする。  | ⑥ 作品の巧拙は問わない。 |
| ② ジヒの心。       | ⑦ 友情に篤い。      |
| ③ 友人をナグサめる。   | ⑧ 清廉な人物。      |
| ④ 人権シンガイにあたる。 | ⑨ 麓の村。        |
| ⑤ ムラサキの絵の具。   | ⑩ においを嗅ぐ。     |

